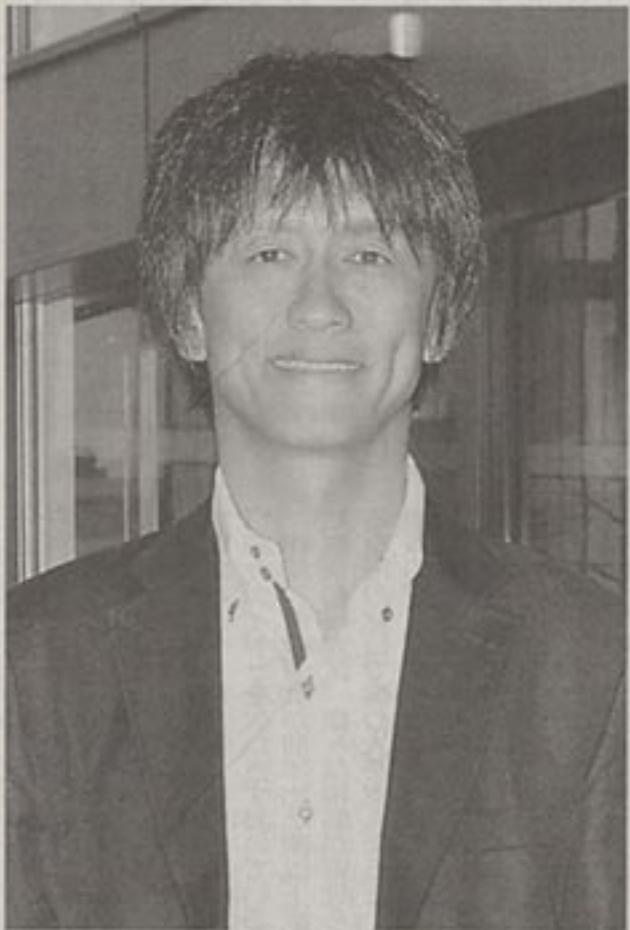


スクエア

女性のサッカースクールを主催

佐伯 仁史さん (47)



スポーツで交流の輪

スポーツは人を笑顔にでる。今月14日から女性を対象にした「なでしこサッカースクール」を始めた。現在、6歳から29歳までの5人が参加している。シートを決めて喜ぶ参加者の姿を見て、その思いを強くした。

スポーツを通じて世の中

きる。今月14日から女性を対象にした「なでしこサッカースクール」を始めた。現在、6歳から29歳までの5人が参加している。シートを決めて喜ぶ参加者の姿を見て、その思いを強くした。

在は、県内で高校教諭を務める傍ら、「二足のわらじ」で活動を続ける。もともと、体を動かすのは大好きだった。小さい頃からサッカー・野球・スキ

O法人「富山スポーツコミュニケーションズ」を立ち上げたのが2005年。現在は、県内で高校教諭を務める傍ら、「二足のわらじ」で活動を続ける。多くの人々に知つてもうおろと、プロ野球BCリーグの富山サンダーバーズ戦など

で、イヤホン付きレシーバーを使い、ルールやチーム設の子供たちをスポーツ観戦に招待している。

一方、女性を対象にした活動も広げている。

昨年11月からは、女性向けのサッカーリベントを始めた。女性たちがスポーツで気晴らしできる場を作りたいとの思いが発端だった。イベントでは、様々な年齢の女性たちがボールを笑顔で追いかける。「こうやって楽しめる場があつて良かった」と参加者にも好評だ。5回のイベントを経て、サッカースクールの開講に踏み切った。今月28日には、元サッカー日本女子代表の鈴木智子さんを招いて特別スクールを開く予定だ。

「スポーツを通じて人と人をつなげていきたい。地域作りや街づくりにもなればいい」

(吉川)

フォーラム とやま